令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日		年度当初	7月1日	/	年度末	月	日	
氏名	吉田大輔							
国文学科	講師							
学科以外の兼務職								

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の5つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会やFD 委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

各教員が記入したティーチング・ポートフォリオは本学ホームページにて3年間公表します。

1. 責務(何を行っているのか)

①担当科目

0,1111		
担当科目名	学科	学年
文章表現	国文	1
日本文学史	国文	1
基礎力プログラム I (初年次教育)	国文	1
子どもと文学	国文	2
ジェンダーと文学	国文	2
ゼミI	国文	2
基礎ゼミ	国文	1
基礎力プログラムⅡ	国文	1
近現代文学講読Ⅱ	国文	2
文学と地域	国文	2
ゼミⅡ	国文	2

②担任制度

担任(1 年生)	1名	担任(2 年生)	5名

③委員会活動

運営協議会		SD 委員会	委員
研究倫理委員会		地域連携委員会	委員長
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会		広報委員会	委員
認証評価準備委員会		高大接続・連携委員会	委員
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	
学生委員会		ハラスメント防止委員会	
障害学生支援・学生サポートセンター運営 WG		教員資格審査委員会	
キャリア支援委員会	委員	教員採用選考委員会	
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD 委員会	委員	授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会		紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	
不正調査委員会		衛生委員会	

④実習業務

<u> </u>		
保育実習部会長	小学校部会長	
幼稚園実習部会長	子ども学科 実習事務	

⑤びわ湖東北部地域連携協議会

*文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ 3 地域社会への貢献プラットフォーム型

	7 T 7 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T	
協議会員	WG-A (産業振興に向けた産官学連携事業) 学内代表	
協議会事務局	WG-B (地域コミュニティの活性化事業) 学内代表	
WG-D (事業管理) 学内代表	WG-C (地域を担う次世代人材の育成) 学内代表	

⑥外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	有・☑無
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額 (期間中合計)	
研究課題	
備考 (分担者等)	

2. 理念(どのような考えに基づいて行っているのか)

2. 生心(こりような	られた とうく・(1) つ (く・(3 の n-)
教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・	【国文学科】
目標	学生の学習と大学生活の両面を中心に、学生支援に注力する。
個人の教育理念・目標	【授業に関して】「類似」(似ている)を発見する力を鍛えたい。 人間の思考は、4つの要素に分割して捉えられる。4つとは、「抽象」(まとめると) 「具体」(たとえば)「類似」(似ている)「差異」(違う)である。これらの要素を事象 に即して展開できる力が思考力なのだと考える。このうち、高校までの学校教育において、 ものごとを抽象化する力と緊密な関係があるにも関わらず、もっとも育てられる機会が少な い能力は、「類似」を発見する力である。このような認識に基づき、さまざまなレベルでの 「類似」を発見させる力を養い、生物学で言う「相同」(見た目は違うが本質は同じ)と 「相似」(見た目は似ているが本質は違う)をさまざまな事象に対して発見できる力を涵養 したい。 【授業以外に関して】アイディアを複数出せるように支援したい 授業以外では、自身のおかれた環境と自身の願望・志向とを折衷させながら、状況に対し て複数のアイディアを自分自身で思いつき、検討し、最良のアイディアを実行できる学生を 育てることを目標にする。こうした目標を持って、学生の相談に乗るなどの支援を行いた い。

3. 方法(その考えをどうやって実現しているか)

0. 70 m (C. 2 37CC		
授業		
授業以外 (学生支援等)		

4. 成果(その方法を行った結果、どうだったか)

1. MANE (C.) 10 ID C	13 2 Charles C 7 C 2 C V	
授業		
授業以外 (学生支援等)		

5. 目標(今後どうするか)

授業	
授業以外 (学生支援等)	
(学生支援等)	

6. 記載内容に関する根拠資料

①令和 7(2025)年度 滋賀文教短期大学 シラバス

②令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 科目別成績分布状況

③令和 7(2025)年度 滋賀文教短期大学 担任一覧表 ④令和 7(2025)年度 滋賀文教短期大学 委員会構成名簿

⑤令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 組織図